

## 入試における配慮内容や受入実績について

### 配慮申請①

足と腰の怪我により長時間椅子に座った状態を保つことが難しいため、試験中に正座や何度も座り方を変えた  
いので床に座って試験を受けたい。

### 配慮内容

本学会場での受験のみ対応可とし、別室において受験。

### 配慮申請②

聴力障害があり、補聴器を使用しているため FM マイクの使用を許可してほしい。また、席は前列を希望する。

### 配慮内容

監督者は FM マイクを使用し、席も一番前へ配置した。加えて注意事項は文書を配布。

※本学会場または FM マイクのある地方会場のみ対応可。

### 配慮申請③

聴覚障害があるため補聴器を装用しており、ロジャーペンの使用を許可してほしい。また、面接の際は口元が  
見えないとわからないため、マスクではなくフェイスシールドで対応してほしい。

### 配慮内容

ロジャーペン使用の許可。監督者がフェイスシールドを使用し面接。

### 配慮申請④

入試直前に事故にあい、車椅子使用を許可してほしい。

### 配慮内容

車椅子の使用を認め、席も車椅子が動きやすい出入口付近の後方へ配置。

※本学会場またはエレベーターのある地方会場のみ対応可。

### 配慮申請⑤

車椅子使用のため、送迎車の構内乗り入れを許可してほしい。

### 配慮内容

試験室近くまで送迎車の乗り入れを許可し、着席まで保護者の付き添いを許可。

※本学会場またはエレベーターのある地方会場のみ対応可。